

TACHIMNEY

立川市クリーンセンターたちむにい
施設整備事業誌



立川市クリーンセンター
たちむにい
Tachikawa City Clean Center TACHIMNEY



事業完了によせて



本市の旧清掃工場は、昭和27年(1952年)から若葉町で焼却業務を行ってまいりましたが、老朽化が進んでいたことから、平成25年(2013年)2月、立川基地跡地昭島地区土地区画整理事業区域内の公的利用分を移転候補地として発表し、清掃工場移転へ向け取り組みを始めました。この時に私は「新清掃工場の稼働まで10年を要する」と申し上げたことを覚えています。まさに10年の歳月を経て、このたび新しい清掃工場である立川市クリーンセンターたちむにいの施設整備事業が完了の運びとなりました。

この間、多くの関係者の皆様、施設周辺の小学校に通う児童や地域の大学生など未来を担う若い方々にも多大なるご協力をいただきました。何より、候補地周辺自治会等で構成する「立川基地跡地利用施設検討委員会」をはじめとした地域の皆様の長きに渡るご理解とご協力により、私にとっても市長就任以来の念願を果たすことができました。改めて感謝申し上げる次第です。

立川市クリーンセンターたちむにいは、「環境負荷のさらなる低減を図る施設」、「安心・安全で安定した施設」、「エネルギーの有効活用を推進する施設」、「大規模災害時に機能が損なわれない施設」、「市民から親しまれる施設」を目指しており、排ガスに関する厳しい自主規制値を設定して運営にあたるだけでなく、焼却熱を利用して得た電力の地産地消を行うほか、環境学習機能なども備えた施設です。

煙突の高さも59メートルと、これまでの半分近い高さとし、アースカラーを基調とした外観は、全体が「森の中の美術館」のようなデザインとなっています。

この立川市クリーンセンターたちむにいが、未永く地域や多くの皆様に愛され、気軽に立ち寄り見学ができる施設となるとともに、ごみ処理だけではない、広く地球環境問題について理解を深めるきっかけとなるよう願っています。

立川市長

清水庄平



— CONTENTS

市長挨拶

目次

序章 地域の取組 P01-02

平成25年(2013年)3月 ● 第1章 候補地の決定から事業者選定 候補地の決定 候補地の決定 P03-04
平成29年(2017年)3月 ● 新清掃工場整備基本計画 新清掃工場整備基本計画の策定 P05-06
平成30年(2018年)8月 ● 生活環境影響調査の実施・都市計画の決定 P07-08
平成31年(2019年)4月 ● 事業者選定 P09-10

令和元年(2019年)9月 ● 第2章 施設整備 敷地概要等・主な施設平面図 P11-12
ごみ処理の流れ P13-14
工事工程 P15-16
景観への配慮 P17-18
多摩産材の活用 P19-20
令和4年(2022年)11月 ● 火入式 P21-22
令和5年(2023年)3月 ● 竣工式 P23-24

第3章 愛称の決定とたちむにい宣言 愛称の決定・愛称ロゴの決定 P25-26
たちむにい宣言(立川市クリーンセンター運営基本方針) P27-28

第4章 緩衝帯等の整備 P29-30

第5章 事業費と交付金 P31-32





新清掃工場整備運営事業に関する事業概要説明会



練馬清掃工場見学会



新武蔵野クリーンセンター見学会



はだのクリーンセンター見学会



クリーンプラザふじみ見学会



現場見学・模型を見ながら意見交換を実施

新清掃工場候補地の決定を受け、早速、平成10年(1998年)に設立した「立川基地跡地利用施設検討委員会」を再び立ち上げ、3名の委員を選出し、平成25年(2013年)12月に、市との協議が始まりました。市民と行政のパイプ役として、アンケート調査から始まり、住民説明会を3回開催する中で、本計画に対する意見、質問、お尋ねごとに対応しました。また、多くの皆様にご理解をいただくために、協議の内容を詳しく記載した「施設検討委員会ニュース」全46号を市と協働で発行し、配布しました。

「新清掃工場がここに来てよかった」と言われるような、親しみやすく、工場らしくない森の中の美術館のような施設を目指し、また、地域の人に愛される工場づくりという願いを強く持ち続けながら、10年の歳月を経て、立川市クリーンセンターたちむにいが完成しました。喜びと同時に、責任を果たすことができ、大変うれしく思います。

ご協力いただきました行政の皆様、地域の皆様、検討委員会の皆様に深く感謝申し上げます。立川市クリーンセンターたちむにいが、末永く安全に運営されますよう、ご祈念申し上げます。

市民に親しまれる施設を目指して

立川基地跡地
利用施設検討委員会 佐藤 良子 会長

立川市クリーンセンターたちむにいの施設整備にあたっては、周辺地域とその住民の皆様の理解と協力なくしては事業を進めることはできませんでした。

事業誌を編成するにあたり、冒頭にて、周辺地域とその住民の皆様の功績に敬意と感謝の意を表するとともに、特に市と共に、事業についての協議や検討を重ねていただいた、「立川基地跡地利用施設検討委員会」の主な取り組み内容について紹介します。

立川基地跡地利用施設検討委員会とは？

立川市クリーンセンターたちむにい建設の候補地となった泉町2,002番地周辺では、元々、平成10年(1998年)より、多摩川上流処理区分場計画についての要望、交渉を行うために「大山自治会」・「二番組自治会」・「親交自治会」・「アメリカ村管理事務所」・「大山銀座商店会」から構成される「立川基地跡地利用施設検討委員会」が立ち上げられていました。

平成25年(2013年)4月25日、立川市は、立川基地跡地昭島地区土地区画整理事業区域内の公的利用分を「新清掃工場の建設候補地」として公表したことを、「大山自治会」・「二番組自治会」・「親交自治会」・「アメリカ村管理事務所」・「大山銀座商店会」に対して新清掃工場に関する説明会を開催して説明しました。その中で、平成10年(1998年)に立ち上げた「立川基地跡地利用施設検討委員会」に「一番組自治会」を加え、各団体から3名の委員を選出して再編し、市と協議することが決まりました。平成25年(2013年)12月3日開催の「立川基地跡地利用施設検討委員会」から、市も会議へ参加し、共に検討を進めてきました。

立川基地跡地利用施設検討委員会での主な活動

- 1 立川基地跡地利用施設検討委員会の開催：全48回
- 2 施設検討委員会ニュースの発行：全46号
- 3 アンケートの実施
- 4 近隣施設バス見学会

立川基地跡地利用施設検討委員会が主体となり、新清掃工場候補地近隣にアンケートの全戸配布(約2,700枚)を実施し、回答集計(約1,800件)の結果、80パーセント以上の賛成という結果が得られました。このアンケート調査結果が、その後の市との協議を大きく進める契機となりました。

アンケート集計結果

Q1	賛成(やむを得ない)	1,485	83%	
本計画に対するご意見は？	反対	158	9%	
	わからない・考えが決まっていない	141	8%	
	Q2			
賛成の方にお尋ねします。 本計画を実施する上で 地元に対して必要なことは？	ゴミ処理エネルギーを活用した発電・売電・蓄電・災害時の地元への給電	826	46%	
	温水プール・足湯・温水の配給	697	39%	
	電気料金の軽減	203	11%	
	ゴミ袋無償配布	221	12%	
	その他	48	3%	
Q3				
	反対の方にお尋ねします。 どのようなことが 気になりますか？	臭い・煙・灰・ダイオキシン	209	12%
		ゴミ収集車による交通量・ゴミの落下の増加	113	6%
その他		33	2%	

※率は回収数に対する率